



UN World Conference on
Disaster Risk Reduction
2015 Sendai Japan

国連防災世界会議パブリックフォーラム・建築系五団体シンポジウム

「いのちを守るまちづくり／家づくり」

現代の災害は、災害による建物の倒壊やインフラの断絶といった人間が作り出した環境の崩壊によっても多くの人命が失われる所にあります。それを未然に防ぐ「いのちを守るまちや家」はどのようにすれば実現するのでしょうか？

本企画では、日本を代表する都市・建築の専門家組織が連携して、「いのちを守るまちづくり／家づくり」について大きな観点から議論します。

午前中は、復旧～復興セッションとして、東日本大震災から創造的に立ち直る事例やその課題について議論します。午後は、防災・減災のセッションとして、来るべき災害に強いまち／家づくりをいっしょに考えます。これら一日を通じて、安全を確保するためには、政府や専門家だけではなく、各自が都市や建築に対する知識を持って備えることが有効なことを共有していきます。

<主催> 日本建築学会(AIJ)、日本建築士会連合会(士会連合会)、日本建築士事務所協会連合会(日事連)、日本建築家協会(JIA)、日本建設業連合会(日建連)

<協力> 「失われた街」模型復元プロジェクト事務局 他

<後援> 土木学会、空気調和・衛生工学会、建築設備技術者協会、日本建築構造技術者協会、日本都市計画学会、日本都市計画家協会、農村計画学会

<日時> 2015年3月14日(土) 9:30~17:00(開場9:00)

<会場> 仙台市民会館小ホール(〒980-0823 仙台市青葉区桜ヶ岡公園 4-1 TEL022-262-4721)

<定員> 500名 (申込み不要)

<参加費> 無料

<プログラム>

第一セッション：復旧～復興---災害から立ち直るために(9:30-12:30)

| | | |
|---|-------------------|---------------|
| ・開会の辞 | 吉野博:AIJ 会長 | (09:30-9:35) |
| ・主旨解説 | | (09:35-9:40) |
| ・復興の実情と課題(09:40-10:20) | | |
| 基調講演 1 : Seismic Safety in the Developing World | Prof. Sudhir Jain | (09:40-10:00) |
| 基調講演 2 : 福島の実状と復興の課題 (AIJ 特委福島 WG) | 鈴木浩 | (10:00-10:20) |
| ・復興にかかわる専門家 (9:40-11:10) | | |
| 科学的・専門的知見の提供と課題 (AIJ 特委岩手宮城 WG) | 塩崎賢明 | (10:20-10:35) |
| 応急危険度判定：町医者としての建築士 | 砂金隆夫:建築士会 | (10:35-10:45) |
| Emergency Architect の役割 | 渡邊宏:JIA | (10:45-10:55) |
| 建築復興支援センターの活動 | 鍋倉孝行:日事連 | (10:55-11:05) |
| ・本震災における Build Back Better 事例 | | (11:05-11:45) |
| 新たな仮設住宅像(福島県木造仮設)、考えられた合意プロセスの力(岩沼市玉浦西)、 | | |
| 建築 WS が持つ力(失われた街プロジェクト)ほか | | |
| ・討論：BBB を妨げるもの実現するもの | 登壇者 | (11:45-12:30) |

第二セッション：防災・減災---災害に強いまち／家づくり（14:00-17:00）

| | | |
|---|---------------------|---------------|
| ・基調講演3：Important Factors in Community-Based Disaster Risk Reduction | Prof. George Haddow | (14:00-14:20) |
| ・東日本大震災を体験して(14:20-14:40) | | |
| 津波と防災 | 田中礼治 | (14:20-14:30) |
| 振動被害を中心として | 源栄正人 | (14:30-14:40) |
| ・教訓を未来へ(14:40-15:25) | | |
| 想定外災害に強い都市と建築（超高層、機能維持、エリア防災） | 久田嘉章 | (14:40-14:55) |
| 複合都市型災害に強い都市づくり（AIJ 特委将来計画 WG） | 加藤孝明 | (14:55-15:10) |
| 災害に強いエネルギー需給の考え方（省エネ、平常時と非常時） | 田辺新一 | (15:10-15:25) |
| ・強い環境をつくるために(15:25-15:55) | | |
| 地震や津波に強い建物の設計 | 金箱温春 | (15:25-15:40) |
| 強い環境を作る建設産業の役割 | 前野敏元:日建連 | (15:40-15:55) |
| ・ラウンドセッション | 登壇者 | (16:00-16:55) |
| ・閉会の辞 | 古谷誠章:AIJ 副会長 | (16:55-17:00) |

<海外予定講演者>

午前の部

Professor Sudhir Jain

Professor and Director, Indian Institute of Technology Gandhinagar, India

（インド工科大ガンディナガル校教授）

President, International Association of Earthquake Engineering (IAEE)

（世界地震工学会会長）

講演予定題目：Seismic Safety in the Developing World

午後の部

Professor George Haddow

Professor at the Institute for Crisis, Disaster and Risk Management at The George Washington University, Washington, DC and Security Studies at Tulane University, New Orleans

（G.ワシントン大学 災害危機・リスク管理研究所 教授、チューレン大学 安全学 教授）

Former Deputy Chief, Emergency Management Agency (FEMA) after Katrina

（元アメリカ合衆国連邦緊急事態管理庁副長官：ニューオリンズ復興期）

講演予定題目：Important Factors in Community-Based Disaster Risk Reduction

建築系五団体合同企画について

本事業は、日本の建築設計・施工に関わる公的な事項に関わる5つの主要団体（通称 建築系五団体）が、2015年3月に仙台で開催される第三回国連防災世界会議の趣旨に賛同して、合同で行う企画です。

東日本大震災からの復興と来るべき大災害に対する専門家の役割を広く共有し、議論することを目的として、パブリックフォーラムを一日にわたって開催します。会に合わせて、「東日本大震災支援 失われた街 模型復元プロジェクト」（日本建築学会誌「建築雑誌」2014年12月号 pp.16-17 参照）を同時に開催する予定です。

<問合せ> 日本建築学会 教育・普及事業グループ 三島 03-3456-2056 E-mail : mishima@aij.or.jp